

平成29年度 事業報告書

自 平成29年1月1日 至 平成29年12月31日

一般財団法人 日本ボクシングコミッション

1 業務管理について

(1) WBO アジア&パシフィックタイトルの承認

平成 29 年 8 月 1 日より承認。

(2) 女子日本タイトルの制定

平成 29 年 10 月 1 日より制定。

(3) 査定制度の導入

①賞与査定を実施した。

②人事管理規定制定に伴い、業務内容表を作成し、運営を開始した。

2 試合管理に関して

(1) 世界(男子 26/女子 8)、東洋太平洋(男子 30/女子 3)、WBO アジアパシフィック(男子 6/女子 2)、日本(男子 31/女子 4)のタイトルマッチ及びその他合計 196 興行の試合管理を行った。

●内訳

地区	2017	2016	差
東京	107	109	-2
中部	17	19	-2
関西	52	55	-3
西部	20	26	-6
合計	196	209	-13

(2) 選手、マネージャー、他ボクシング従事者に対する資格審査並びにライセンスを発給した。ライセンスの発行数は、4,279 名 (内：外国人ボクサー 259 名)

●内訳

種別	2017	2016	差
ボクサー	2,252	2,306	-54
男子	2,098	2,167	-69
女子	154	139	15
プロモーター	64	74	-10
クラブオーナー	277	278	-1
マネージャー	415	407	8
トレーナー	623	590	33
セコンド	383	383	0
マッチメーカー	3	2	1
レフェリー	142	128	14
タイムキーパー	12	13	-1
アナウンサー	11	10	1
ドクター	88	83	5
進行	7	5	2

合計	4,277	4,279	-2
----	-------	-------	----

●ボクサーライセンス取得者（）内は女子ボクサー

	2017	2016	差
A級	681(55)	683(44)	-2
B級	252(17)	259(16)	-7
C級	1319(82)	1364(79)	-45
合計	2252(154)	2306(116)	-54

(3) プロボクサー新人テスト実施をした。

●受験者数

地区	2017	2016	差
東京	323	362	-39
中部	48	35	13
関西	146	138	8
西部	72	67	5
合計	589	602	-13

(4) 日本ランキングを決定し発表した。

ランキング委員会を開催した。(月例)

●メンバーは、専門誌記者、一般紙・スポーツ紙記者、ボクシングアナリスト、JPBA、JBC

※女子日本ランキングは平成29年10月より

(5) 試合役員研修会を実施した。

各地区の状況は、東京地区9回、中部地区2回、関西地区3回、西部地区2回であった。内容は、採点基準、レフェリング(反則処置)、事故防止等であった。

3 安全防護に関して

(1) JBC・JPBA合同医事講習会を開催した(東京本部管轄)。

(平成29年6月28日、後樂園ホール5F展示会場)

① 講師

野中雄一郎医師 東京慈恵会医科大学附属病院脳神経外科診療部長

『ボクシングにおける急性硬膜下血腫について』

北川順久医師 日本大学病院アイセンター医師

『網膜剥離について』

② 参加者

103名

③ 内容

- ボクシングにおける脳内損傷や出血の種類と仕組み、脳震盪などについて画像や統計を交えながらわかりやすく丁寧に講義された。
- 眼球内の仕組みや網膜の役割、剥離に至る原因や過程などがスライドを用い詳細に説明された。

(2) JBC・中日本ボクシング協会合同医事講習会を開催した（中部管轄）。

(平成29年10月15日、栄ガスビル栄ガスホール5F)

① 講師

山田徳久医師 山田醫院院長

『ボクシングにおける急性硬膜下血腫について』

『網膜剥離について』

『眼窩壁骨折について』

② 参加者

49名

③ 内容

- ボクシングにおける脳内損傷や出血が起きる過程、また脳震盪などの症状が起きた場合、できる対処の仕方などわかりやすく丁寧に講義された。
- 眼球内の仕組みだけでなく、網膜の役割、剥離に至る原因や過程などが詳細に説明された
- 眼窩壁骨折について骨折に至る原因やその症状、及び治療法について詳細な説明がなされた

(3) リング事故（急性硬膜下血腫受傷）

①奥村健太（角海老宝石）が1月14日後樂園ホールにおいて、澤田京介（JBSPORTS）との8回戦で6回判定負け後、急性硬膜下血腫にて緊急入院し、開頭手術を行った。現在は日常生活を送る。

②大石豊（井岡弘樹）が4月22日エディオンアリーナ大阪において、ラーチャー・シットサイトーン（タイ）との12回戦で12回1分36秒TKO負け後、急性硬膜下血腫にて緊急入院。保存療法で対処。現在は日常生活を送る。

3 国際交流について

(1)OPBF（東洋太平洋ボクシング連盟）第55回年次総会に参加した。

(平成29年11月10日～11月12日、フィリピン)

① 各種報告

② フリーディスカッション

(出席者) JBC関係分：安河内剛、福地勇治

(2) WBC (世界ボクシング評議会) 第55回年次総会

(10月1日～10月6日、アゼルバイジャン・バクー)

協議事項

*リングオフィシャルセミナー

*各地域総会

*ランキング委員会

*指名挑戦者確認

(出席者) JBC関係：安河内剛本部事務局長 宮崎久利

JPBA関係：本田明彦(帝拳)、鈴木真吾(角海老宝石)

ジョー小泉(リングジャパン) 他

(3) IBF (国際ボクシング連盟) 年次総会

(5月22日～5月27日 アメリカ・フロリダ州)

(出席者) JBC関係分：安河内剛

4 ボクシング功労者の表彰について

2016年度年間優秀選手表彰式を開催した。

(1) 日時

平成29年2月10日

(2) 場所

東京ドームホテル

(3) 表彰選考会

平成24年1月24日実施

(4) 表彰選手

①プロの部10部門(15名)

(5) 各種チャンピオンの引退

●元WBC世界スーパー・フェザー級チャンピオン 三浦隆司(帝拳)

●元WBA世界スーパー・フェザー級チャンピオン 内山高志(ワタナベ)

●元WBA世界スーパー・バンタム級チャンピオン 下田昭文(帝拳)

●元WBO世界ミニマム級チャンピオン 高山勝成(仲里)

●元WBA世界フライ級チャンピオン 井岡一翔(井岡)

●元OPBF東洋太平洋スーパー・ウェルター級チャンピオン 大石豊(井岡弘樹)

●元OPBF&日本ライト級チャンピオン 加藤善孝(角海老宝石)

●元OPBF&日本ミドル級チャンピオン 淵上誠(八王子中屋)

●元WBC女子世界フライ級チャンピオン 真道ゴー(グリーンツダ)

●元日本ライト級チャンピオン 土屋修平(角海老宝石)

●元OPBF東洋太平洋女子ライト・フライ級チャンピオン 竹中佳(高砂)

(6) 世界王座獲得

- WBO世界ミニマム級チャンピオン 福原辰弥 (本田フィットネス)
- WBA世界スーパー・バンタム級チャンピオン 久保隼 (真正)
- WBC世界ライト・フライ級チャンピオン 拳四朗 (BMB)
- WBC世界フライ級チャンピオン 比嘉大吾 (白井・具志堅スポーツ)
- IBF世界ミニマム級チャンピオン 京口紘人 (ワタナベ)
- WBO世界フライ級チャンピオン 木村翔 (青木)
- WBO世界ミニマム級チャンピオン 山中竜也 (真正)
- IBF世界スーパー・バンタム級チャンピオン 岩佐亮佑 (セレス)
- WBA世界ミドル級チャンピオン 村田諒太 (帝拳)
- IBF世界スーパー・フェザー級チャンピオン 尾川堅一 (帝拳)
- WBA女子世界フライ級チャンピオン 藤岡奈穂子 (竹原&畑山)
- WBO女子世界ミニ・フライ級チャンピオン 江畑佳代子 (ワタナベ)

5 広報普及活動について

- (1) ボクシング広報誌を発刊した。
毎月発刊
- (2) ボクシング年鑑を発刊した。
平成29年4月1日
- (3) ホームページの活用
最新情報を掲載した。
- (4) U-15 ボクシング全国大会の開催に協力した。
 - ①日時
平成29年9月3日
 - ②場所
東京・後楽園ホール
 - ③参加者
98名

6 記録、資料について

選手記録(戦績、診断の記録カード)、ボクシングに関する資料の収集、作成並びに保存を継続的に行った。また選手の健康カード刷新し、様式を変更した。

7 その他

- (1) 理事会を3回開催した。
 - ①平成29年2月28日
 - ②平成29年7月4日

③平成 29 年 12 月 20 日

(2) 評議員会を 1 回開催した。

①平成 29 年 2 月 28 日

(3) 物故者

平成 29 年度にご逝去されたボクシング関係者は 8 名であった。

- 穂積秀一（元日本ライト・フライ級王者）1 月 11 日ご逝去（57 歳）
- 大島惇弘氏（名駅 OSHIMA ジム会長）1 月 12 日ご逝去（73 歳）
- 佐々木隆雄（トクホン真闘ジム会長）3 月 23 日ご逝去（71 歳）
- 林有厚（元 JBC コミッショナー）5 月 17 日ご逝去（87 歳）
- 土屋末広（審判員）5 月 27 日ご逝去（58 歳）
- 荒川高志（ボクサー：緑ジム）6 月 20 日ご逝去（27 歳）
- 伊波政春（元日本ライト・フライ級王者）9 月頃ご逝去（58 歳）
- 中真茂（沖縄ワールドリングジム会長）11 月 7 日ご逝去（65 歳）

(4) 処分関係

平成 29 年度は、7 案件 13 人を処分した。内容は以下の通りである。

① 豊田和也（小熊：ボクサー）の件

平成 29 年 5 月 5 日、体重が落ちない事を理由に規定の時刻までに公式計量会場に現れず失踪し、予定していた試合をキャンセルせしめた。

- 豊田和也を平成 29 年 5 月 5 日よりライセンス 6 ヶ月停止処分。
- 小熊正二（小熊：クラブオーナー）を嚴重注意処分。

理由－クラブオーナーとしての管理監督責任。

（平成 29 年 5 月 26 日付）

② 小池幸弘（JBC：スーパーバイザー）の件

平成 29 年 5 月 21 日の沖縄での OPBF 東洋太平洋ライト・フライ級タイトルマッチにおいてスーパーバイザーとして採点集計をした際、集計作業をミスし、一度下した判定結果を後に訂正するなど試合運営に混乱を来した。

- 小池幸弘（スーパーバイザー）を嚴重注意処分。

（平成 29 年 6 月 5 日付）

③ 京口竜人（グリーンツダ：ボクサー）の件

平成 29 年 7 月 12 日、翌月に試合を控えていたにも関わらず、飲酒運転でタクシーに追突し、運転手に軽傷を負わせた。

- 京口竜人を平成 29 年 7 月 12 日よりライセンスの無期限停止処分。
- 本石昌也（グリーンツダ：クラブオーナー）を戒告処分。

（平成 29 年 8 月 9 日付）

④ 鈴木憲（駿河：マネージャー）の件

平成 29 年 8 月 30 日の試合において所属ボクサーが重篤な怪我をし、全治に 3 ヶ月程度を要することを知りながら試合をキャンセルすることなく、予定通り出場させた。

●鈴木憲を平成 29 年 8 月 30 日よりライセンス 3 ヶ月停止処分。

●増田義雄（駿河：クラブオーナー）を嚴重注意処分。

理由－クラブオーナーとしての管理監督責任。

（平成 29 年 11 月 21 日付）

⑤ 山口号珠（横浜光：ボクサー）の件

平成 29 年 12 月 3 日の試合前日計量において 0.7kg 体重超過し計量失格となった。

●山口号珠を嚴重注意処分。

●石井一太郎（横浜光：クラブオーナー）を嚴重注意処分

理由－クラブオーナーとしての管理監督責任。

（平成 29 年 12 月 4 日付）

⑥ 越川孝紀（横浜光：ボクサー）の件

平成 29 年 12 月 8 日の試合前日計量において 0.6kg 体重超過し計量失格となった。

●越川孝紀を嚴重注意処分。

●小林昭司（セレス：クラブオーナー）を嚴重注意処分

理由－クラブオーナーとしての管理監督責任。

（平成 29 年 12 月 7 日付）

⑦ 丸木和也（天熊丸木：ボクサー）の件

平成 29 年 12 月 19 日の試合前日計量において 0.6kg 体重超過し計量失格となった。

●丸木和也を戒告処分。

●丸木孝雄（天熊丸木：クラブオーナー）を嚴重注意処分

理由－クラブオーナーとしての管理監督責任。

（平成 29 年 12 月 19 日付）

以上